

2018年9月度定例理事会議事録 ー速報ー

2018年9月10日(月) 19時00分 スター貸会議室四谷第一会議室

出席理事： 田井、木内、生木、西谷、菅家、菊地(俊)、草深、小賀坂、小宮山、坂、
櫛本、野村、村岡、屋代、柳原、島田、橋本、笹畑、寺島、檜垣、高橋、
小倉(監事) 以上21名

委任状： 宮田(野村理事に委任) 以上1通

欠席理事： 菊池(誠)、高松、竹井、細田、鹿住(監事)

会社役員会：井口 事務局：雪、松本、篠本 書記：芝本

議長： 田井理事長

出席理事15名(19時00分)委任状1通をもって9月度理事会は成立。

1. イベント委員会(菊地委員長)

- ・今後の委員会運営について委員会内で話合った結果、イベント委員会を存続させる事とし、1・2週間内に委員長・副委員長候補を決定する事となった。
- ・9月8日(土)に行われた2&1クラブコンペは参加人数は少なかったが、ゲストを含めた参加者には好評であった。

2. クラブライフ委員会(坂委員長)

- ・9月8日(土)に行われたガゼボナイトは盛況のうちに終了した。
- ・12月1日(土)のクリスマスコンペの進捗報告。詳細決定次第、メンバーに告知する。

3. グリーン委員会(村岡委員長)

- ・9月2日(日)活動報告。→全体的には芝の状態は例年に比べると良い。グリーンは、今後も秋の長雨・台風に対処して行く。
- ・事務局から、13番ホールのグリーンに関して説明があった。→扇風機の使用・木を伐採などして風通しを良くしている。去年張り替えた所は、まだ根つきが完全ではないが、来年は芝の状態がよくなると思われる。又、春先に使用した有機肥料の効果が表れていると思われるので、引き続き天候の状態を見つつ、グリーン・芝の状態を良くして行きたい。

4. 広報委員会(野村副委員長)

- ・8月31日(金)に行われた活動報告。→ニュースレター2018年秋号(11月中旬刊行予定)の掲載記事について。
- ・委員会内で委員長(理事)の取締役兼務についての話合いがあり、メリット・デメリットについての意見が出された。

5. フェロウシップ委員会(小宮山委員長)

- ・ジュニアについて、委員会内で話合った。→事務局に話合いの結果を伝えたところ、色々誤解もあり、改めて委員会・事務局・ジュニアの保護者を交えた話合いが

必要である事がわかり、既存のメンバーと新メンバーの交流を含め、ジュニアの躰やマナーについての話し合いをする事となった。

- ・来年のルール改正に伴い“PLAY FAST”のアイデアを委員会内で検討して行く。

6. ジュニア委員会(橋本委員長)

- ・7月26日(木)～28日(土)のジュニア合宿についての報告。→16名の参加。熱中症に注意して、ゴルフのレッスン以外にも畑仕事・スイカ割り・流し素麺・花火等を行い、充実した合宿になった。→3日目の台風予報により、子供たちの安全を考え、2日間で終了する事とした。
- ・8月26日(日)のジュニアレッスン会も20名の参加があり、コミュニティのショートコースを使用してのレッスン会となった。→レッスン会終了後、親子の親睦会がプールサイドで開かれ、ゴルフ場という大人の社交場で子供をどう育てて行くかという事を話合った。

7. 競技委員会(笹畑副委員長)

9月30日(日)から開催されるクラブ選手権の告知。

8. 営業報告(事務局 雪副支配人)

- ・7月の売上実績は2,179万円で計画比361万円のマイナス、前年比533万円のマイナスであった。来場者数は2,271名で前年比428名減であった。8月の売上実績は2,116万円で計画比235万円のマイナス、前年比323万円のマイナスであった。来場者数は2,222名で前年比145名減であった。7・8月は猛暑の為、来場者数も減ってしまったと思われる。当期累計については、売上実績27,717万円で計画比2,913万円のマイナス、前年比339万円マイナスであり、来場者数は27,311名で前年比97名減であった。9月の売上実績(9月9日現在)685万円で前年比70万円プラスであった。来場者数は659名で前年比76名増であった。中旬以降の連休に集客をして行きたい。
- ・コジロー会員7月は普通会员入会1名、8月は家族会員1口2名で、当期累計(8月末)は普通会员18名、家族会員6口12名の計24口30名であった。9月入会(9月9日現在)普通会员1名であった。
- ・会員入退会状況は、7月の入会5口7名で、退会は1口2名、8月の入会は6口8名、退会は3口5名で、当期累計(8月末)は、入会36口49名、退会28口41名(内稼働中9口11名)であった。
- ・平日組売り7月は、メンバー、ゲスト・ビジター、インターネットサイト利用者(M・GV・N)101組397名(M35名・GV284名・N78名)、8月は78組306名(M33名・GV183名・N90名)、当期累計(8月末)は1,157組4,564名であった。9月は(9月9日現在)16組58名(M5名・GV41名・N12名)であった。
- ・ラウンジ工事については、9月15日(土)からの営業を目指して、工事を進めている。

9. 第33期に向けて(木内代表取締役)

33期の年会費等に関する議論を行った際に、「33期は入場者28,500人、入会30口

をミニマムのラインとし、これを下回る場合は 34 期の年会費を見直す。」ということを確認した。32 期はこれとの比較で入場者数約 1,200 名のマイナスであったので、今期は入場者数 1 か月平均 100 名(1 日 1 組)プラスが必要ということである。一方、入会は最近になく好調で 36 口になり(うち 14 口が住宅購入に伴うもの)来期もこのペースでいけるよう努力したい。年間通じてゲストが不調でネットが好調という状況だったので、何とかゲスト集客を中心に盛り上げていく必要がある。

10. 理事・監事候補者選出会議(木内副理事長)

- ・ 前回(7 月)の理事会の際に、来期理事会体制(理事・役員兼務)について説明をしたが、若干補足したい。→各委員会の委員長は自動的に理事に推薦するが、あわせて高滝の役員になっていただきたいというお願いした。現職との関係(兼職禁止等)で高滝の取締役を兼務できない場合には、執行役員等の問題ない役職を考えるので何らかの形で役員会に関わっていただきたい。→もともとは理事会・役員会のメンバーはある程度兼務でスタートしたが、途中の色々なことに関する責任を広げないために長く別々にしてきた。このような事情がなくなっているの、ここ何年かで兼務を進めてきており、将来的には経営と運営をなるべく一体化して行きたいと考えている。「理事会で役員会の監視をする。」という話もあったが、一般のゴルフ場のように事業会社の子会社などが経営をしているのであれば、メンバーシップがないがしろにされないようクラブの理事会が経営を監視することも必要になる。しかし、ブリックは同じ立場のメンバーがたまたま役員会や理事会に入るだけである。しかし、一方は売上を中心に経営に当たり、一方はメンバーシップを価値あるものにしていくということで、しばしば立場の違いが表面に出る。これはこれで当然のことであるが、これを解決するには双方でそれぞれに意見を言い合うのではなく、一緒に両方の立場を考慮して論議して決めていくことと考えている。役員会・理事会の合同開催も年に数回行う等工夫していくなど今より情報共有・協議決定はスピーディになると思われる。
- ・ 青年部委員会が委員会としては存続しなくなる予定。また、正副委員長を中心に理事を推薦する予定なので、理事の人数も 23 名以上というのはクリアできないことになる。それぞれ規則上の手当が必要である。→10 月の理事会で運営規則と選出規則の改定を行う。
- ・ 野村理事から、現在コミュニティ側の情報提供が少ないのでコミュニティ側からの理事はいないのか、コミュニティ内でイベントがある場合は既存のメンバーに知らせてほしいという質問と要望があった。→現在、小宮山理事等がコミュニティに所属し理事でもあるので、今後コミュニティ内の情報提供を依頼した。→必要応じ高滝・Acorn・コミュニティ・理事会の協議会も開催する。
- ・ 樺本理事からも、役員会と理事会の情報共有が乏しかったのが反省点であるので、今後は委員長・副委員長が理事会に出席し、又、委員長が役員も兼任する事で経営と運営に一体感が生まれるのではないかという意見があった。

- ・西谷副理事長からは、以前は理事会と役員会が運営・経営で同じ方向を向いていた。今は、役員会・理事会・コミュニティと立場が分散して来ているが、メンバーとしてより良いクラブを目指す事には皆違いはないので、来期からの兼任は良き方向への一つの策と考えているという補足があった。
- ・委員長・副委員長が未定の委員会は9月中にこれを決定し、正副理事長に連絡をする。これに基づき選出会議を開催し、10月の理事会に報告する。

次回理事会は10月15日(月)19時00分～ 場所未定 議長は田井理事長